

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	慢性腎臓病患者における腎臓内ドーパミン系活性化による腎臓内レニン-アンジオテンシン系抑制効果の検討
研究の概要	<p>●対象となる患者さん： 20歳から80歳までの原疾患を問わず、透析患者を除いたCKD stage 1～5の患者。 本研究は、浜松医科大学倫理委員会にて承認され（承認番号第23-52号「腎臓内レニンアンジオテンシン系(RAS)の日内変動と腎障害の関係」）、平成24年2月～平成25年8月に同意をもとに収集された試料を用いての研究となる。</p> <p>●研究に使用する試料： 尿 20ml</p> <p>●研究の方法 「腎臓内レニンアンジオテンシン系(RAS)の日内変動と腎障害の関係」で収集された年齢、性別、身長、体重などの患者背景の情報、24時間血圧、血清クレアチニン、血漿RASマーカー、及び6時～21時を昼間、21時～6時を夜間と分けて施行した尿中アルブミン・蛋白排泄率や尿中アンジオテンシノーゲン排泄率のデータに加え、今回新たに尿中ドーパミン濃度を測定する。</p> <p>●試料および情報等の利用目的 腎臓内ドーパミン活性の指標として尿中ドーパミンを測定することで、CKD患者における腎臓内ドーパミン系と腎臓内RASとの相互の抑制関係を明らかにする。</p>
研究機関について	<p>名称：浜松医科大学 卒後教育センター 研究機関の長：須田 隆文 研究責任者：大橋 温</p>
資料の入手または閲覧について	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
情報の開示について	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内</p>

	<p>で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
研究期間	<p>西暦 2017年 3月 (臨床研究倫理委員会承認後)</p> <p>～ 2020年 2月</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3192</p> <p>浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号</p> <p>浜松医科大学医学部附属病院</p> <p>所属 卒後教育センター</p> <p>担当者：大橋 温</p> <p>TEL：053-435-2261 (第一内科)</p> <p>FAX：053-434-9447 (第一内科)</p> <p>E-mail：ohashi-n@hama-med.ac.jp</p>